



教育目標：自立 敬愛 精励  
ようがの学び舎 舎訓 責任

信頼 誇り



# 用賀中だより

～生徒が主人公である学校、地域と共に歩む学校～

学校だより9月号 令和7年9月吉日  
ようがの学び舎 世田谷区立用賀中学校  
校長 毛利 慎治

(スマホでも読みやすくなるよう、レイアウトを試行しています)

## 「Well-being」

——自分らしく、仲間と共に歩む二学期へ  
ようがの学び舎 世田谷区立用賀中学校  
校長 毛利 慎治

長い夏休みが終わり、校舎に再び生徒の元気な声が戻ってきました。私自身もこの夏、いくつかの研修に参加し、教育の新しい考え方について学ぶ機会を得ました。その中でどの場でも共通して語られていたのが「Well-being（ウェルビーイング）」という言葉です。最近ではテレビや新聞でも取り上げられることが増えており、今後の教育において欠かせない考え方となっています。

ウェルビーイングとは「身体的・心の面・人とのつながりの面で良い状態にあること」を指します。つまり、ただ元気でいるだけでなく、「自分らしく生きている」「人とつながって安心できる」と感じられることが大切なことです。

文部科学省が昨年度行った全国調査によると、中学生に「毎日を幸せだと感じるか」をたずねたところ、平均は4点満点中3.24点でした。多くの生徒が「まあまあ幸せ」と答えています。さらに詳しい分析では、「友達との関係がうまくいっていること」が一番大きく影響し、次に「先生に支えられていると感じるここと」、そして「自分には良いところがあると思えること」が続いていました。つまり、友達、先生、自分自身への自信——この三つが、中学生の幸福感を大きく支えていることがわかります。

日本の教育では、「自分を大切にし、自分の夢や目標を見つける力」（獲得的ウェルビーイング）と、「人とのつながりや助け合いを大切にする力」（協調的ウェルビーイング）の両方を育てることが大切だとされています。日本は昔から「みんなで力を合わせること」を大切にしてきました。この考え方は、世界に向けて大事に発信していきたい、日本ならではの価値もあります。

そして私にとって中学校とは、「一人ではできないことを、仲間と一緒に楽しみ、面白さを共有できる場所」だと思っています。休み時間の何気ない笑い声、部活動で熱中する姿、運動会や合唱コンクールのような大きな行事——こうしたすべての時間は、みんなが集まるからこそ生まれる面白さであり、心に残る体験です。笑顔を分かち合うことで、学校はもっと安心できる場所になり、一人一人のウェルビーイングも豊かに育っていくのです。

さて、2学期は行事が続く学期です。2年生は職場体験で社会とつながり、1年生は移動教室で仲間との絆を深めます。3年生はいよいよ進路選択に向き合う大切な時期を迎えます。そして10月には、全校を挙げての合唱コンクールがあります。仲間と声を合わせ、一つの目標に向かうことは、まさに「協調的ウェルビーイング」を体験する場です。そこから得られる達成感や仲間との一体感は、きっと生徒たちの心を強く支えてくれるでしょう。

用賀中学校は、学校生活の中で「自分の居場所がある」と生徒一人一人が感じられることを大切にしています。そして、地域や保護者の皆さんと力を合わせながら、生徒が「自分らしく、仲間と共に、社会の一員として」成長していくよう支えてまいります。

2学期の歩みが、生徒一人一人のウェルビーイングを育み、より充実した毎日につながることを願っています。

## 夏季休業を活用した研修を報告いたします。

高瀬 翔平 先生

夏季休業中には ICT 研修に参加し、iMovie や CapCut を活用した動画資料の作成方法や AI の教育現場での活用について学びました。特に Canva AI を取り扱い、AI とのやり取りを通じて希望するアプリケーションを作成できることを学習しました。

実際にテニス部の対戦表を作成し、結果を入力すると自動的に実力に応じたリーグ分けや勝率が算出される機能を付けることができました。今後は部活動に限らず、社会科の授業にも応用できるアプリケーションを作成したいと考えています。

また部活動においては、7月末に有明で行われた都大会団体戦に出場しました。惜しくも 1 回戦敗退となりましたが、3 年生が最後まで粘り強く素晴らしいプレーを見せてくれました。

その姿を目の当たりにした 1・2 年生は、「自分たちも先輩のように有明の舞台に立ちたい」という強い目標をもち、日々練習に励んでいます。

8 月はサービス・ストローク・ボレーなどの基本の確認や、試合ルールの再確認、練習試合を通じた試合展開の把握を重点的に行いました。

8 月 26 日からは秋季新人大会が始まります。これまでの練習の成果を十分に発揮できることを祈っています。



増田 鳩大 先生

8 月 20 日実施の夏季 ICT 活用研修を行ってきました。研修では、学校現場における ICT 機器の利用について学びました。私は、その中でもとりわけ学校現場で活用できる AI についての講義と体験をしてきました。

内容としては、teams と共に使用できる copilot を活用した文書作成の手法や AI を使用する上でのリ

テラシーや chatGPT を使用する上での注意点とその特性の活かし方というものでした。AI を体験する時間には、実際にこちらが指示した文章を出力させ、こちらの指示通りの文章へと調整したり、各教科の練習問題を作成させたりという体験をしました。実際に授業や校務で活用するには、使用方法やその場面など検討しなくてはいけないことは様々ありますが、うまく活用できれば仕事量や負担を大幅に軽減できるものだと感じました。2 学期は、まず試しに授業内での復習などに AI を活用することから始めていこうと思いました。

林 穂乃花 先生

夏休みは、生徒が部活動や自主学習に励む大切な期間であると同時に、教員にとっても学びを深める貴重な時間です。私自身も生徒と先生がそれぞれの場で一生懸命に取り組む夏を感じる機会となりました。

顧問をしている吹奏楽部では、吹奏楽コンクールや、世田谷区音楽発表会に向けた練習を重ねました。厳しい暑さが続く中でも、生徒たちは集中して取り組み、音楽を楽しみながらも真剣に努力する姿が見られました。また、特に三年生は受験勉強との両立という大きな課題を抱えながらも、後輩と力を合わせて舞台をつくろうとする姿がとても頼もしく感じられました。中学校最後の夏を仲間と過ごす経験は、きっと忘れられない思い出になることでしょう。こうした努力の積み重ねが、コンクールで銀賞をいただく結果につながったのだと思います。

また、私自身も夏休みを使って研修に参加し、授業の力を高めるように努めました。夏季教育課題研修では、「ひらめく学び」をテーマにした講座に参加しました。生徒が「わかった!」と感じたり、自分で発見したりする瞬間をどうつくるかについて、多くの学びを得ました。授業の工夫や声かけの方法など、すぐに実践できるアイディアも多く、二学期以降の授業や部活動に取り入れていきたいと思います。

この夏は、生徒たちの努力する姿や、新しいことに挑戦する姿に多くの力をもらいました。二学期からの学校生活が、さらに豊かで充実したものになるように、この経験をしっかりとつなげていきたいと思います。



# 8/29学び舎協議会

8月29日(金)に、学び舎協議会を開催しました。教科部会から全体会という順で進め、教科部会では教科ごとに集まり、2学期の教科指導の見通しやつけたい力などについて情報交換をしました。中学校としては、小学校からの学びを知り、連続させていくために有効な機会となりました。

全体会は特活室で、研修報告会を行いました。

研修報告は、はじめに本校の田嶋 竜之介 先生が「生徒指導基幹研修」で学んだことについて、講演という形で発表しました。



研修内容を実感を伴って共有するために、講演に併せていくつかの活動も行いました。

○グループエンカウンター(関係構築力の向上)

「異なる学校同士で3人組をつくりましょう」「自己紹介し合い、3人の共通点を見つけましょう」「共通点はレア(独自)な方がよいです。」「3分後に発表をお願いします。では始めましょう!」…と声がかかると、会場内が一斉に話し合いで活気づきました。それまで「しばらくぶりに来た用賀中特活室」でシーンとしていたのが一転です。



○ケース・スタディ(共有による視点拡充と整理)

「9月15日、1時間目の数学の授業のあとになぜか泣き出しちゃった生徒」という内容の事例を読み、「何が考えられるが」「どう対応するのがよいか」を話し合いました。話題を共有することで、複数の視点から子供の姿を知ることができ、可能性の提示とその整理、対応に向けての役割分担などがスムーズにできることを実感として学べました。

○ロールプレイ(子どもの立場を疑似体験する)

感情が高ぶってしまって良くないことを言った(した)生徒への接し方、3例が提示されました。

- ① よくないことを「よくない」と正す。
- ② その子どもがよりよく元気になるよう励ます。
- ③ 寄り添い、わかろうとする。

ロールプレイ後の解説として、「答えはこれです!」というものではありませんが、みなさん実際に感じた通り、③だとホッとしますよね。とまとめました。また③に続き、「いい方法を一緒に考えていく」と伝え、子ども自身が解決や解消、前進に向くように導くのが大切です、とまとめました。



次に、寺川 靖葉 先生が「秋田県大館市視察・実習」で学んだことについて、講演という形で発表しました。

## ○聞き方の違い

・「うめライス」を実践

う なづいて聞く  
め を見て聞く  
ら すとまで聞く  
い つしょうけんめい聞く  
す まいる



この「うめライス」や、「ひない」の「あしば」を「整える」

「①人と関わる、②何事も諦めない、③今を未来に」の獲得の為に「④あいさつ、⑤時間、⑥場に応じた行動」を整えていくなど、「名づける」ことで「小中の全員がわかる、行える」ようにしている工夫などが紹介されました。

ようがの学び舎でも「おはコミ」など名付けて続けているものがありますので、よさを生かして続け、また「学び舎生徒会」などで新たに名付けて行う取組みが生み出されるのもよいかもしれませんね。

講師は本校が勤務校目の若手でしたが、内容豊富に堂々と講演や進行をし、学び舎の教職員全体にとって大変刺激になる、価値ある時間となりました。

# 各部活動の表彰です。

日々の精励、大変素晴らしいです！（敬称略）

◆男子バレー部 第79回 東京都大会  
第7位

◆陸上部 世田谷区夏季大会

- ・女子共通 4×100m リレー 第5位 O.N, S.K, S.A, M.A
- ・女子 2年 4×100m リレー 第5位 K.M, N.J, K.T, M.K
- ・女子共通 100m ハード 第7位 I.M
- ・男子共通 800m 第2位 S.K
- ・男子共通 1500m 第2位 S.K
- ・女子共通 800m 第3位 S.A
- ・女子共通 1500m 第4位 S.A
- ・女子共通 1500m 第6位 A.M
- ・女子共通 砲丸投 第7位 O.N
- ・男子共通 走高跳 第4位 M.K
- ・女子共通 走高跳 第1位 S.K

◆女子テニス部 東京都大会

第3回戦進出

◆吹奏楽部 第65回 東京都中学生吹奏楽コンクール  
銀賞

## ☆部活動での精励の言葉です☆

夏休みは部活動（男子バレー部）と勉強の両立をがんばりました。

一学期には、帰宅後疲れ切って眠ってしまう毎日でしたが、夏休みは隙間時間を見つけて少しづつ勉強をしました。

二学期は期末テストで良い点を取れるようにがんばりたいです。

## ☆ビブリオバトルでの精励の様子です☆



予選チャンプ本に選定されました。

（左）

F.Yさん

『ラーゲリより  
愛をこめて』

（右）

O.Rさん

『JK、インドで  
常識ぶっ壊さ  
れる』

プレゼンテーションの様子も大変よく、落ち着いてはっきりと話していましたが、何より本などで新しく知ることを愛好している姿勢が素晴らしいと感じました。

☆合唱コンクール、実は準備が順調に進んでいます☆



（中山先生）看板の完成像は当日までヒミツですので、写真を加工しています。楽しみにして、練習がんばれー！

## <9月の主な予定>

1日（月）始業式 避難訓練（集団下校）

4,5日（木金）おはようコミュニケーション

5日（金）服装を考える日

8日（月）生徒会選挙活動始

9日（火）生徒会朝礼 8:25開始

11日（木）職場体験事前訪問（2年）

12日（金）生徒会選挙

16日（火）全校朝礼 8:25開始

17日（水）学び舎研究会（4時間授業）

19日（金）中間考査（1日実施、5時間）

22日（月）職場体験事前指導（2年）

24~26日（水～金）職場体験（2年）

24日（水）移動教室保護者説明会（1年）

25日（木）いじめ防止プログラム（1年）

29日（月）学校公開始（～10/1）区陸練習会

30日（火）開校記念日（66周年）

着付け体験（2年）

小学生中学校訪問・学び舎生徒会